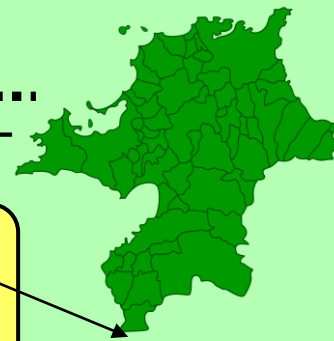


社会福祉法人 大木町社会福祉協議会

〒830-0416 三瀨郡大木町大字八町牟田538-1 町健康福祉センター
TEL0944-32-2423 / FAX0944-33-2016

大木町のデータ【平成24年1月1日現在】

人口 14,538人 世帯数 4,593世帯 高齢化率 22%
自治会数 49 民生児童委員数 27人



広げようおおきの和(サロン)

●指定事業実施の背景

平成22年4月現在、2地区において「いきいきサロン」が行われていた。この「いきいきサロン」が開設した当初は、慣れなくてぎこちないながらもみんなでそれぞれ協力して運営されていた。参加者の得意分野を活かした郷土料理づくりなどでは、3世代交流が見られ、月1回の開催では物足りないくらいの満足感をもって行われていた。また、回を重ねるごとに参加者の方が元気でハツラツとされ、ピンシヤン体操は如実に効果が出ていた。そこで、この取り組みを町内で広く取り組むことの重要性を感じていた。

●2年間の軌跡 活動の概要

平成22年度は新たに3地区で立ち上がり、従来行われていた福祉センターのつどいをいきいきサロンと統一した形で実施し、計6地区が立ち上がった。またサロンでの資質向上のため、レクリエーション講座を実施した。町内のサロン同士の情報共有を図るために「大木町いきいきサロン連絡協議会」が立ち上がった。

平成23年度は新たに2地区、試みとして3地区が立ち上がり、既にサロン活動を活発に行っている地区が模範になっている。また、平成23年度は老人クラブとの共催で健康づくりセミナーを開催した。

●事業効果

サロンを開催することで、どの地区も世代間交流が実施されるようになり、地域の活性化に繋がっている。大木町いきいきサロン連絡協議会が立ち上がり、他の地区との情報交換や人材育成に役立っている。

また、サロンの運営の課題となっていた財源については、平成22年12月より社協からサロンへ助成されることになった。

県内の他の地区から視察も多く受入れており、町内のサロンの活性化にもつながっている。

健康づくりセミナーを開催したことで、おおき健康隊員が増え、相互の協力体制が整いつつある。

担当者の声

サロンづくりをどう支援したらいいのか不安でした。小さな田舎町だけれど、それぞれ独自の地域性があることを考え、地域性を生かしたサロンづくりと町内に増えつつある新しい住民との交流を含んだ世代交流を盛り込むことで地域に根付いた活動にしたいと考えました。立上げ・運営を進めていく中で地域の方々も共通の理解と認識の下、大木町ならではの独自性のあるサロンができました。

さらに県社協で行われるモデル事業の連絡会に参加することで、サロンをはじめ先進地の様々な取り組み等多くのことを学び、それを地元還元することができたと思います。

大木町社会福祉協議会

上之蘭 睦子 氏

活動のあしあと

平成22年度

- ・ 6 地区で立ち上がった

人材や地域性など社会資源をフルに活用したサロンづくりができた。



芋団子作りと折り紙や紙飛行機を親子で教えてもらった。



近くの保育園児との交流ではサロン参加者に肩たたきのプレゼント

- ・ 連絡協議会が発足

サロンの運営やレクリエーション器具の利用方法など情報交換の場となった。



平成23年度

- ・ 2 地区で立ち上った
- ・ 老人クラブ連合会との共催で「健康づくりセミナー」を開催

おおき健康隊員は、サロンをはじめ各地域の高齢者の健康づくりのために援助活動を行う。



- ・ 牟田地区の世代交流事業が「いきいきサロン かわら版」に掲載
町外からの視察が増え、町内各サロンの活性化につながる。

今後の取り組みと目標

健康づくりセミナーの開催

平成23年度からはじまった「健康づくりセミナー」は、24年、25年度も実施し、ふくおか健康隊と合わせて100人の健康隊員を養成する予定です。その健康隊員には、各地域で行われるサロンや老人クラブでの催しで高齢者健康づくりのリーダーとして活躍してもらい、これが将来的には町の高齢者医療費削減に繋がればと考えています。

平成25年までに15地区のサロン開設予定

平成23年度までに新たに8地区が立ち上がり、現在さらに3地区が立ち上がろうとしており、町内に15地区でのサロン開設を当面の目標としています。

小さい地区や高齢者が多い地域においては社協が積極的に支援していき、また、連絡協議会を定期的開催し、町内及び町外等のサロンの取り組みなどの情報交換を行なっていく予定です。